

## □ 市町村合併と交通まちづくり

市町村の行財政基盤の強化を図り、住民に身近な立場にある市町村が、より充実したサービスを提供し、住みやすいまちづくりを展開することを目的に、市町村合併が進められています。しかし、交通まちづくりの観点からは課題が生じています。

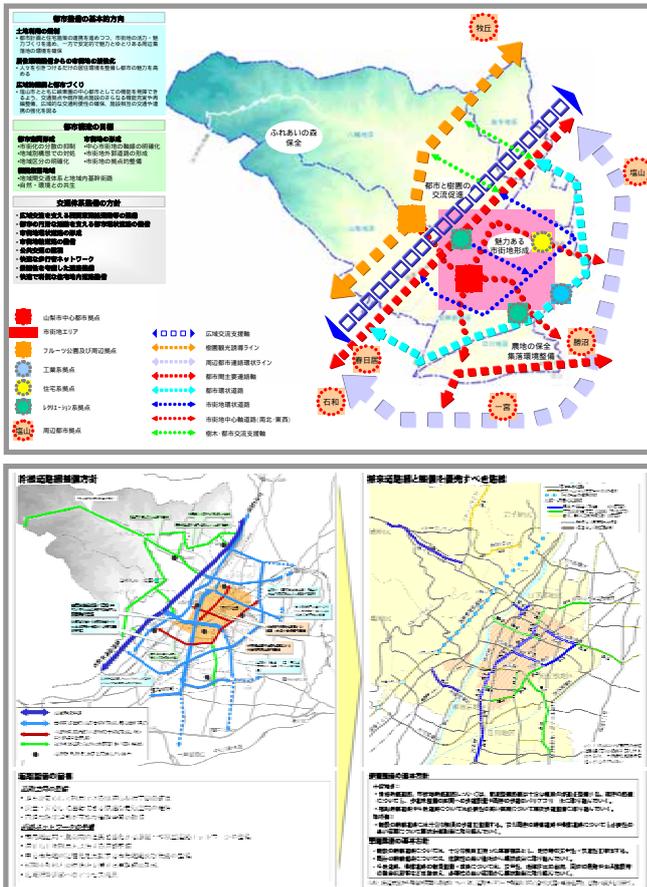
### 期待する効果

旧市町村の境界を越えた公共施設の利用が可能  
 広域的な視点にたって、まちづくりをより効率的に実施  
 効率化により多様な行政施策の展開が可能

### 交通まちづくりの課題

公共施設等の相互利用が可能な交通ネットワークとなっていない  
 地域を連携させる交通ネットワークとなっていない  
 道路の計画や整備優先順位が、合併後の統一した基準に基づくものでなく、不公平になる  
 バス路線の運行サービスが旧市町村ごとに千差万別で、合併後には不公平になる  
 地域指定である交通円滑化計画、オムニバスタウン等の公的計画が合併により変更する必要が生じる

## 1 道路(都市計画道路)の整備計画の見直し



道路(都市計画道路)の整備計画は、次のステップで策定します。

### 1. 現状と将来動向の把握

地域の現状  
 道路・交通の現状  
 上位・関連計画の把握

### 2. 基本方針の策定

住民ニーズの把握  
 問題・課題の整理  
 将来都市構造の目標設定  
 整備の基本方針の策定

### 3. 道路網整備計画の策定

道路網の評価と修正  
 道路幅員構成の検討

### 4. 整備プログラムの策定

整備優先順位の評価指標・方法の検討  
 整備優先順位の検討  
 整備プログラムのとりまとめ

